

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本取付説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この取付説明書および同梱されている「取り扱いの手引き」は施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意(設置場所・設置位置について)

- 本品は建築基準法対応品です。建築基準法では、各地域毎の基準風速及び積雪量を設定しておりますので、各地域の所轄窓口でご確認ください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。
- 本品はサイドパネル、妻パネルの取付けはできません。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

■ 基準風速(V₀)、積雪量対応表

タイプ \ サイズ		全サイズ
全タイプ	基準風速V ₀	34m/s
	積雪(比重0.2)	600N/m ² (30cm)
	積雪(比重0.3)	600N/m ² (20cm)

注* 地表面粗度区分Ⅲ地区にて算出
* 一般地域の積雪比重は0.2にて算出
* 積雪地域の積雪比重は0.3にて算出

— 目次 —

組立・施工の前に	1	コンクリートの打ち込み	8
注意(設置場所・設置位置について)	1	屋根材および押え材の取付け	8
施工時の注意事項	1	雨樋の組立	9
梱包明細	2	屋根補強材の取付け	9
構造説明図、納まり図	3	連結部の組立て	10
納まり図	4	背面合掌カバー取付け、車輪止めバー組立	11
基礎の施工・はりの取付(単体・連棟)	5	車輪止めバーの取付け	12
基礎の施工・はりの取付(背面合掌)	6	施工完了時の注意事項	12
前後枠・母屋の取付け、側枠・たる木の取付	7		

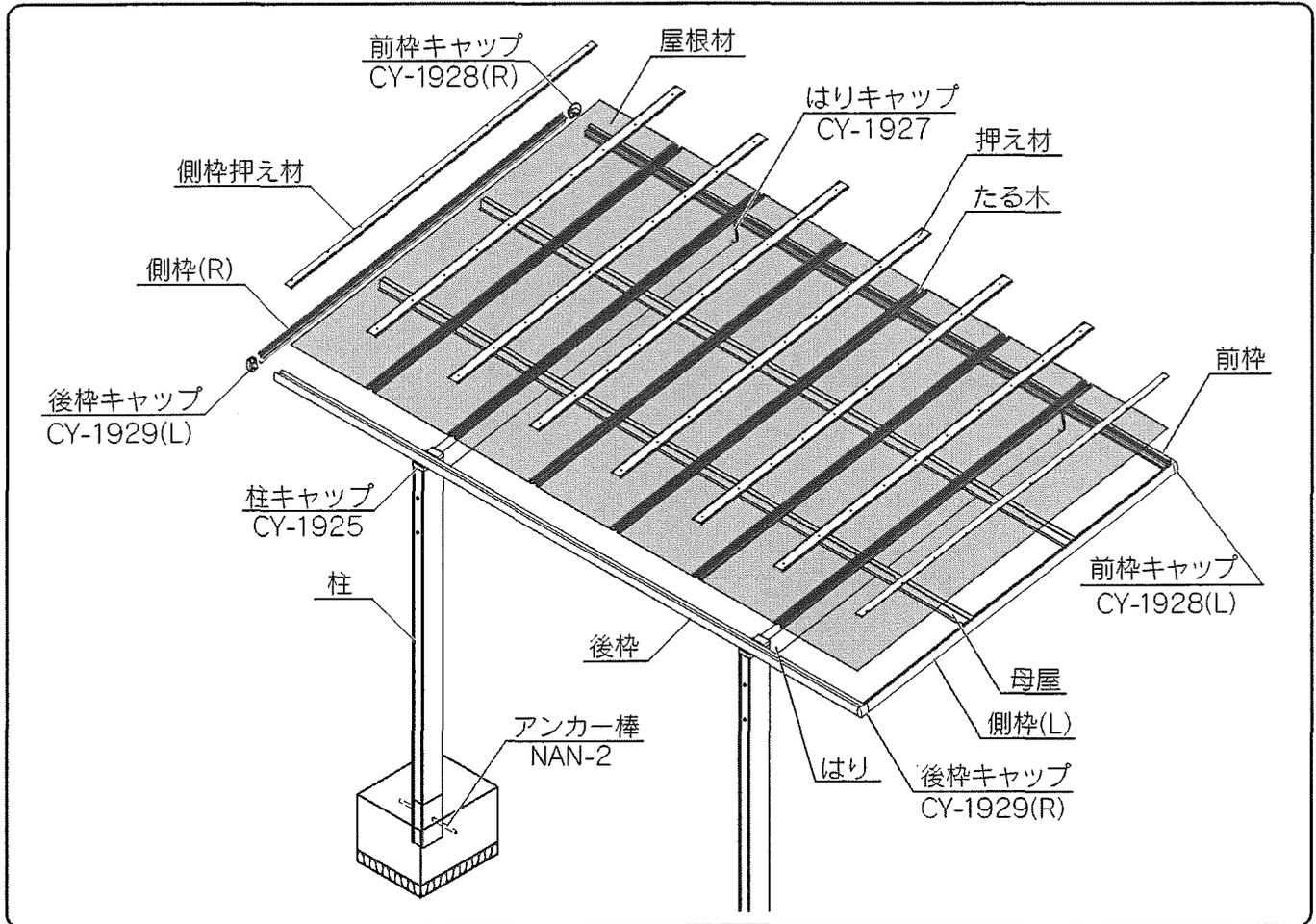
梱包明細

部材セット明細		
梱包名称	部材・部品名称	数量
標準柱	柱	2(2本入り)、1(1本入り)
長柱		
はり	はり	2(2本入り)
側枠・たる木	側枠	左右各1
	たる木	6(間口51用)、7(間口58用)
	押え材	8(間口51用)、9(間口58用)
	連棟たる木	側枠用2、たる木用6(奥行51用)、たる木用7(奥行58用)
前後枠セット	前・後枠	各1
	母屋	2
背面合掌カバー		1
柱・はりジョイナー		2(2本入り)
屋根材	ポリカーボネート板・熱線遮断ポリカーボネート板、クリアマットポリカ板	3枚入り、4枚入り
	アルミ板	2枚入り、3枚入り
たて樋	たて樋	1

ファインポートRミニ-L、ファインポートFミニ-L標準・連棟部品箱明細							
組立手順	部品名称	部品記号	数量				
			51標準	58標準	51連棟用	58連棟用	
①基礎の施工	アンカー棒	NAN-2	2	3	2	3	
	注意表示ラベル (30cm)	ML-1066	1	1			
②はりの取付け	緩み止めM8×20六角セムスボルト	BN-1292-01	14	21	14	21	
	前後枠ピース	LB-1216	4	6	4	6	
	φ4×12トラス (タッピン3種)	3TA4×12S	9	13	9	13	
	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	4	6	4	6	
	柱キャップ	CY-1925	2	3	2	3	
	はりキャップ	CY-1927	2	3	2	3	
③前後枠・母屋の取付け	M8×20六角ボルト	BH08×020S	4	6	4	6	
	M8用平座金	ZC08S	4	6	4	6	
	M8用バネ座金	ZF08S	4	6	4	6	
	M8六角ナット	NNA08S	4	6	4	6	
	φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S	9	13	9	13	
	母屋補強金具	HO-2179	8	12	8	12	
	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	8	12	8	12	
	孔ふさぎシール	NM-73	8	12	8	12	
④側枠・たる木の取付け	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	33	37	29	33	
	前枠キャップ	CY-1928	左右各1	左右各1			
	後枠キャップ	CY-1929	左右各1	左右各1			
	コーキング剤	NBC-256	1	1			
	φ4×10トラス (タッピン2種)	2TA4×10S	81	91	71	81	
⑤面材及び押さえ材の取付け	前後枠連結ブラケット	LB-1217			2	2	
	母屋連結ブラケット	UB-1018			2	2	
	止水パッキン	BU-1236			2	2	
	M8×14六角ボルト	BH08×014S			8	8	
	M8用平座金	ZC08S			8	8	
	M8用バネ座金	ZF08S			8	8	
	M8六角袋ナット	NFD08S			8	8	
	φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S			9	9	
⑦雨樋の組立て	雨樋部品セット (ETC-4101)	落し口	ETC-2646	1	1	1	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2	2	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1	1	1
		エルボー	ETC-2435	2	2	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1	1	1
		φ4×12トラス (タッピン3種)	3TB4×12S	4	4	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1	1	1

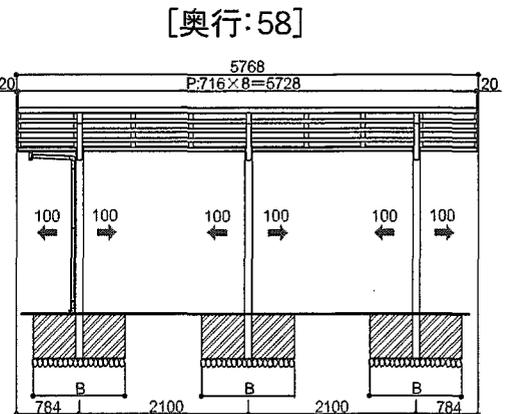
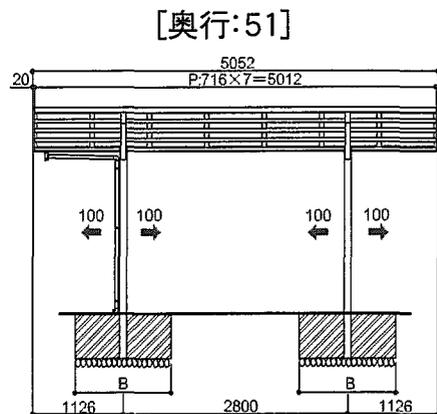
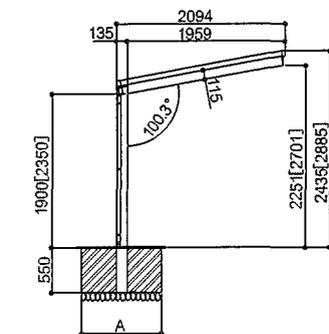
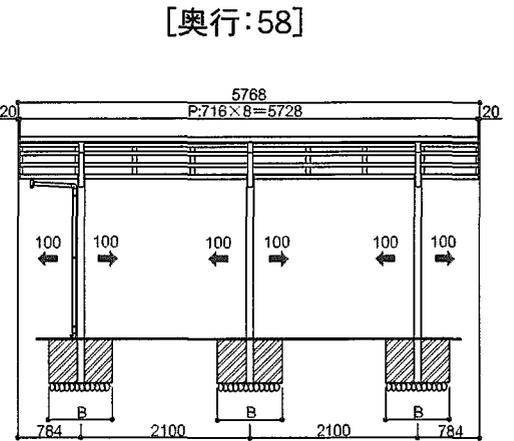
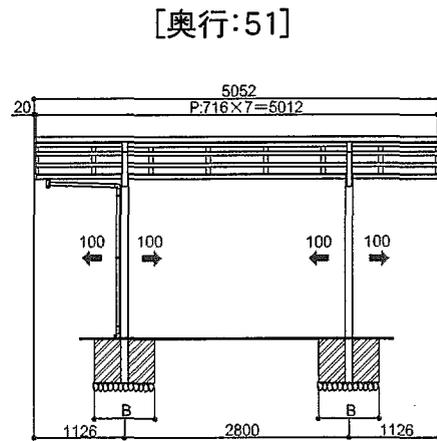
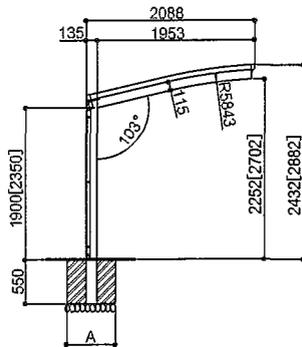
ファインポートRミニ-L、ファインポートFミニ-L背面合掌部品箱明細				
①背面合掌用 背面合掌連棟用	部品名称	部品記号	数量	
			背面合掌23・30用	背面合掌連棟用
	柱固定ブラケット	UB-1082	8	
	背面合掌ブラケット	EB-2192	3	
	M6×30六角ボルト	BH06×030S	3	
	M6用六角袋ナット	NFD06S	3	
	M6用平座金	ZC06S	3	
	M6用バネ座金	ZF06S	3	
	背面合掌キャップ	CY-1947	2	
	φ4×12トラス (タッピン2種)	2PA4×12S	4	
	φ5×12トラス (タッピン3種)	3TA5×10S	8	
	背面合掌連棟カバー	CY-1948		1
	ゴムワッシャー付きテクスビス	BN-310-01		4

構造説明図



納まり図 ■ ファインポートRミニ-L・Fミニ-L納まり図

- ・本図は間口21タイプを示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[]内に示す。
- ・は柱移動範囲を表します。

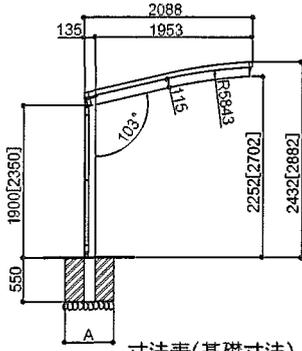


寸法表(基礎寸法)

間口	奥行き 51		奥行き 58	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
21	1000	1000	950	950

■ 納まり図 ■ ファインポートRミニ-L・Fミニ-L 連棟納まり図

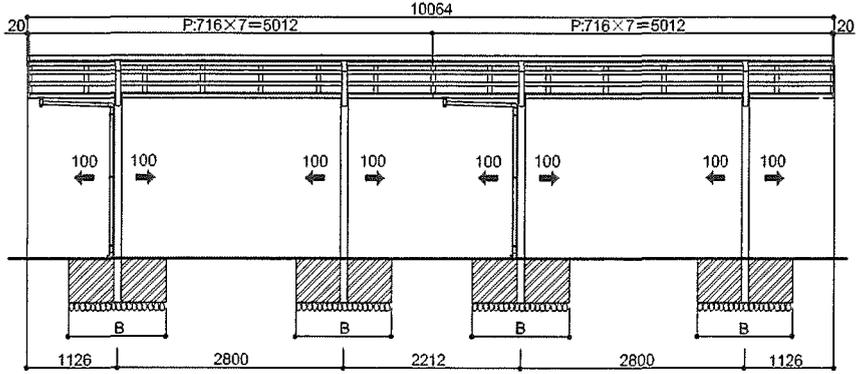
- ・本図は間口21タイプを示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[]内、に示す。
- ・→は柱移動範囲を表します。



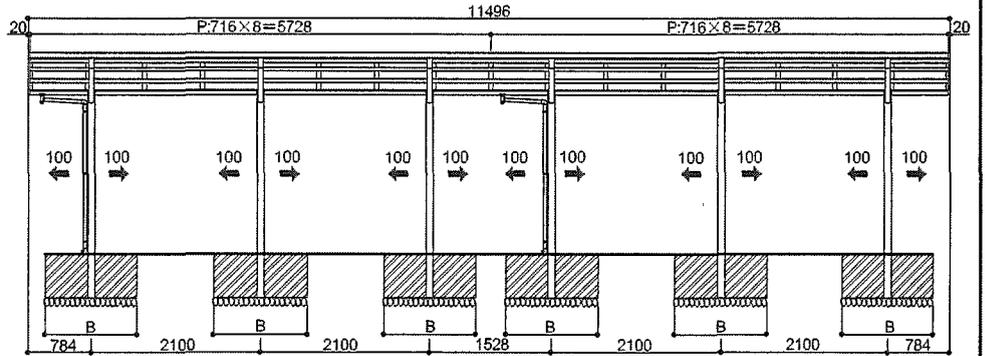
寸法表(基礎寸法)

間口	奥行き 51		奥行き 58	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
21	1000	1000	950	950

[奥行き:51+51]

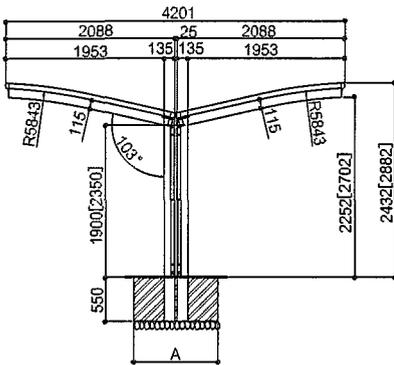


[奥行き:58+58]



■ ファインポートRミニ-L・Fミニ-L 背面合掌納まり図

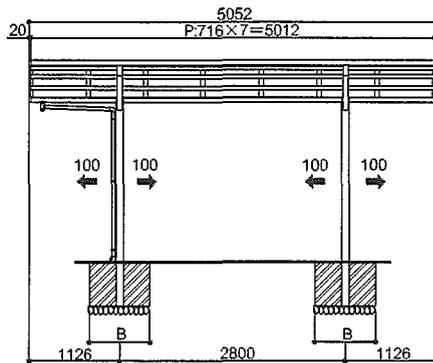
- ・本図は間口21タイプを示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[]内、に示す。
- ・→は柱移動範囲を表します。



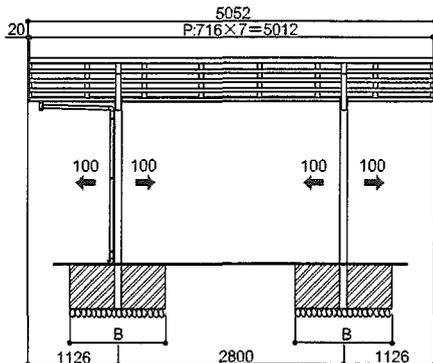
寸法表(基礎寸法)

間口	奥行き 51		奥行き 58	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
21	900	900	800	800

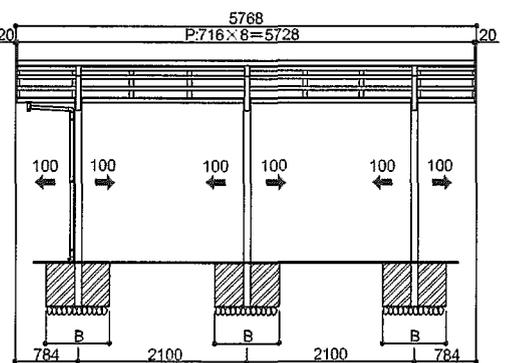
[奥行:51]



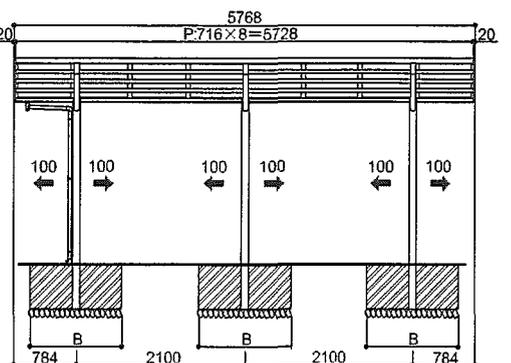
[奥行:51]



[奥行:58]



[奥行:58]



単体・連棟納まりの場合

1 単体・連棟基礎の施工

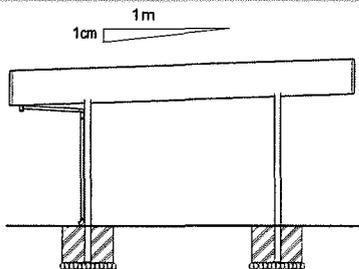
注) 背面合掌用は次ページを参照ください。

- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。



ポイント

- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



- ③ 柱にはあらかじめ積雪20cm用のラベルが貼り付けてあります。積雪30cmの場合は、そのラベルをはがして部品箱内に入っているラベルを貼り付けてください。

2 はりの取付け

- ① はりにはりキャップ、Φ10用穴ふさぎキャップを取付けてください。
- ② 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスポルトで固定してください。
- ③ 柱キャップを取付けてください。
- ④ 前後枠ピースをビス止めしてください。



ジョイナーの刻印について
ファインポートRミニ-FミニとファインポートRミニ-L、Fミニ-Lでジョイナーの対応サイズが異なる場合があります。ジョイナーの刻印の部品Noと右下の表をよく見比べ、注意して取付けを行ってください。



ボルト締め付けの際はインパクトドライバの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまうことがあります。



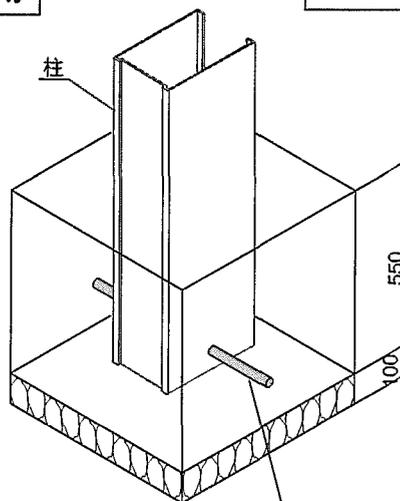
工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。



柱、梁、ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。(連棟・背面合掌時)

外側

内側



アンカー棒
NAN-2

Φ4×13セルフ
ドリリングビス

はりキャップ
CY-1927

Φ4×12トラス

前後枠ピース
LB-1216

M8×20六角セムスポルト

Φ4×12トラス

Φ4×13セルフ
ドリリングビス

柱キャップ
CY-1925

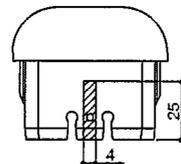
刻印

柱・はりジョイナー

M8×20六角セムスポルト

柱

⚠ 施工完了時にはりキャップを付け忘れた場合は、下図の斜線部に切り込みを入れてから取付けてください。



柱・ジョイナーのサイズ別組合せ表

間口	51	58
奥行	21	
標準柱	a	a
長柱	b	a
ジョイナー	b	a

a・b見分け方表

	a	b
標準柱、長柱	補強材無し	補強材有り
ジョイナー(Rミニ-L)の刻印	EB-2183	EB-2184
ジョイナー(Fミニ-L)の刻印	EB-2185	EB-2186

背面合掌納まりの場合

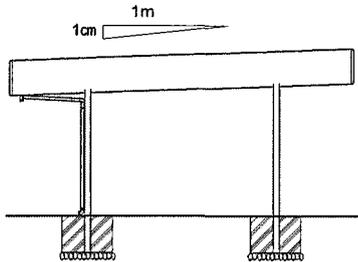
1 背面合掌基礎の施工

- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。



ポイント

- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



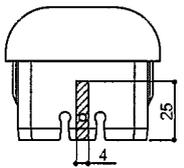
- ③ 柱にはあらかじめ積雪20cm用のラベルが貼り付けてあります。積雪30cmの場合は、そのラベルをはがして部品箱内に入っているラベルを貼り付けてください。

2 はりの取付け

- ① はりにはりキャップを取付けてください。
- ② 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスボルトで固定してください。
背面合掌側は、柱固定ブラケットを一緒に取付けてください。
- ③ 柱キャップを取付けてください。
- ④ 前後枠ピースをビス止めしてください。



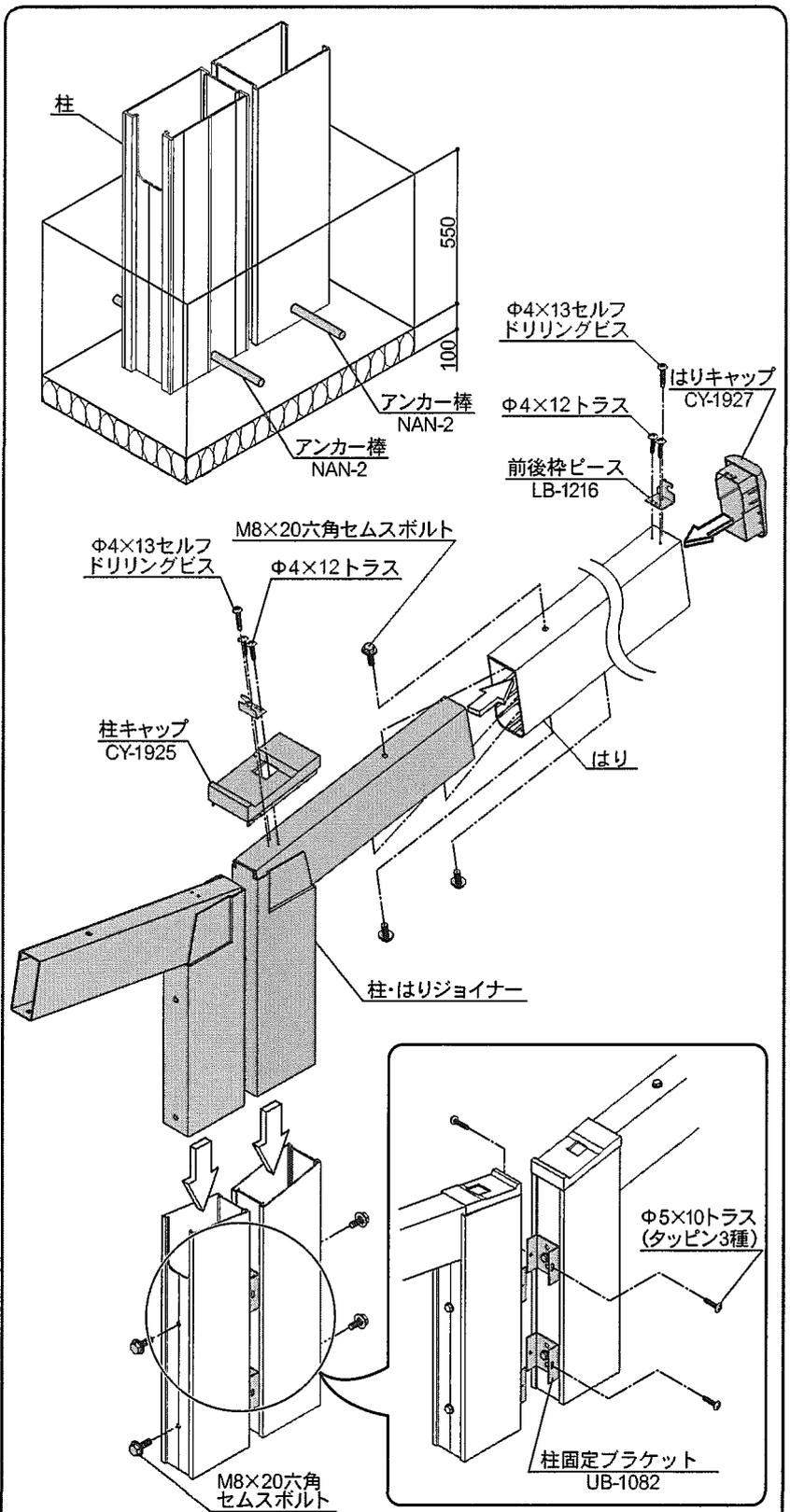
施工完了時にはりキャップを付け忘れた場合は、右図の斜線部に切り込みを入れてから取付けてください。



ボルト締め付けの際はインパクトドライバの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまふことがあります。

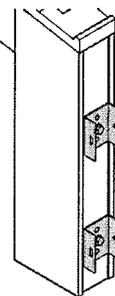


工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。



ポイント

- Rミニ-L, Fミニ-L同士の背面合掌納まりの場合。
・ 柱固定ブラケットを柱の上下2ヶ所にボルトで固定してください。
- ・ 柱固定ブラケットの中央の孔にボルトを差し込んでください。
- その他の背面合掌納まりの場合は、背面合掌組立施工マニュアル(ME-1614)を参照してください。



3 前後枠・母屋の取付け

- ① 前後枠にボルトを通し、はり部に取付けた前後枠ピースへボルトを通しナットで仮止めしてください。
- ② 母屋をはりにビス止めしてください。
- ③ 母屋補強金具を取り付けてください。

👉 ポイント

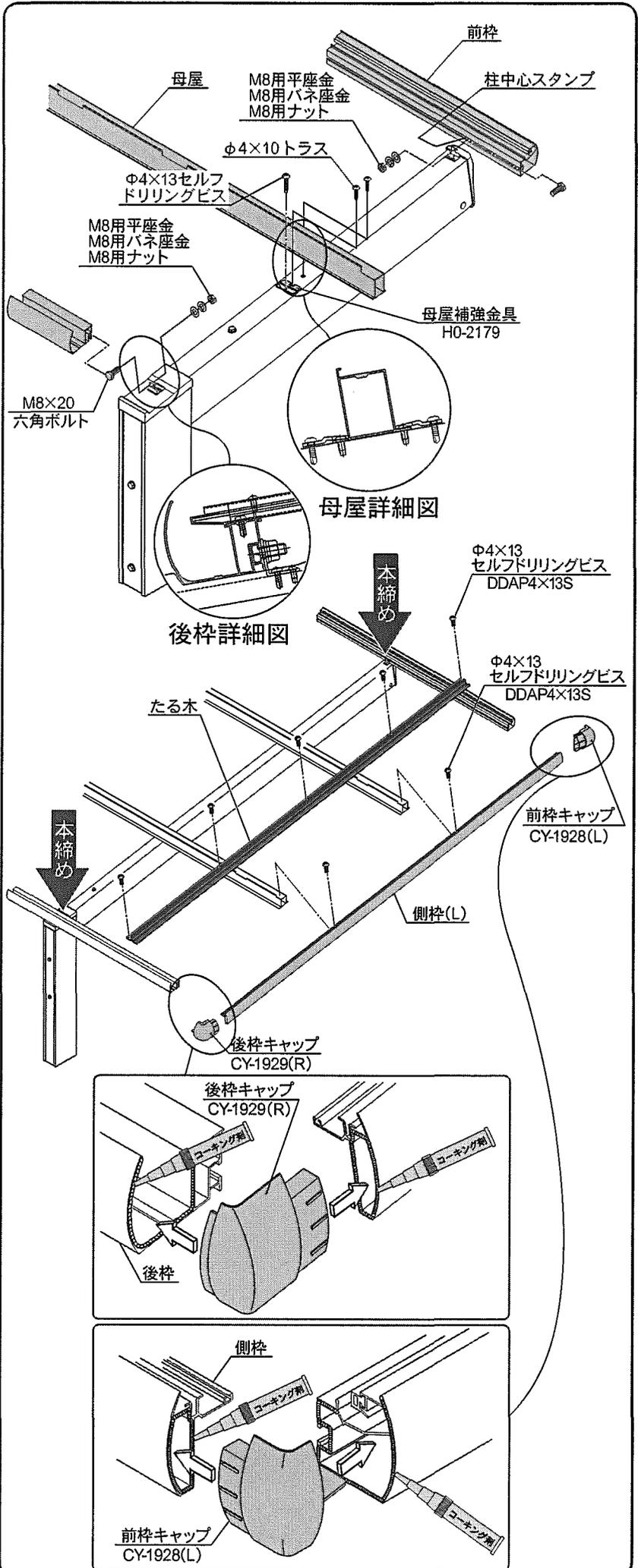
- 母屋補強金具は、はり中央のノッチを目印に母屋詳細図のように取り付けてください。

👉 ポイント

- 前後枠に柱中心位置スタンプがあります。この位置を参考に位置決めをしてください。(柱移動時はご注意ください)
- 母屋には向きがあります。母屋詳細図を参考に取付けてください。

👉 ポイント

柱移動する場合は母屋に孔加工が必要になります。使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼付けてください。



4 側枠・たる木の取付け

- ① たる木を前後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部を合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
- ② 側枠、前枠、後枠の両端切口にコーキングを施し側枠にキャップを差し込み取付けてください。

👉 ポイント

- 前枠キャップ、後枠キャップには左右があります。

- ③ 側枠を前後枠・母屋に取付けてください。
- ④ 前後枠ピース部のボルトを止めてください。

👉 ポイント

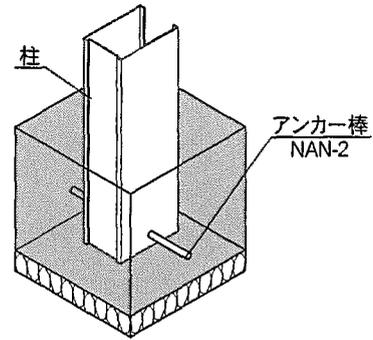
- ファインポートRミニ-Lの側枠には左右があります。シール付きを右(前枠側から見て)に取付けてください。

👉 ポイント

- たる木取付けビスはφ4×13セルフドリリングビスを使用しています。電動ドライバーをご使用ください。

5 コンクリートの打ち込み

- ① 柱のアンカー棒を確認してください。
- ② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しく
でているか確認してください。
- ③ コンクリートを流し込んでください。
- ④ コンクリートが固まるまで養生してください。
(4日~1週間程度)



6 屋根材および押え材の取付け

- ① 後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中に来るよう調整してください。
- ② 屋根材は先に前枠に差し込んでから後枠ピースに突き当たるまで入れてください。
- ③ 前枠のビード部に押え材を押し当て、前枠側から後枠方向へビス止めしてください。

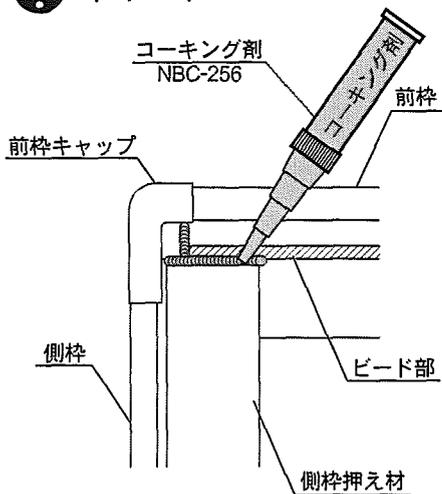
! 押え材の取付け時にインパクトドライバは使用しないでください。

! 押え材取付け時に、ビスのから回りを防ぐために締め付けトルク15kgf・cm以下でビス止めしてください。

! ビスがから回りをした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。

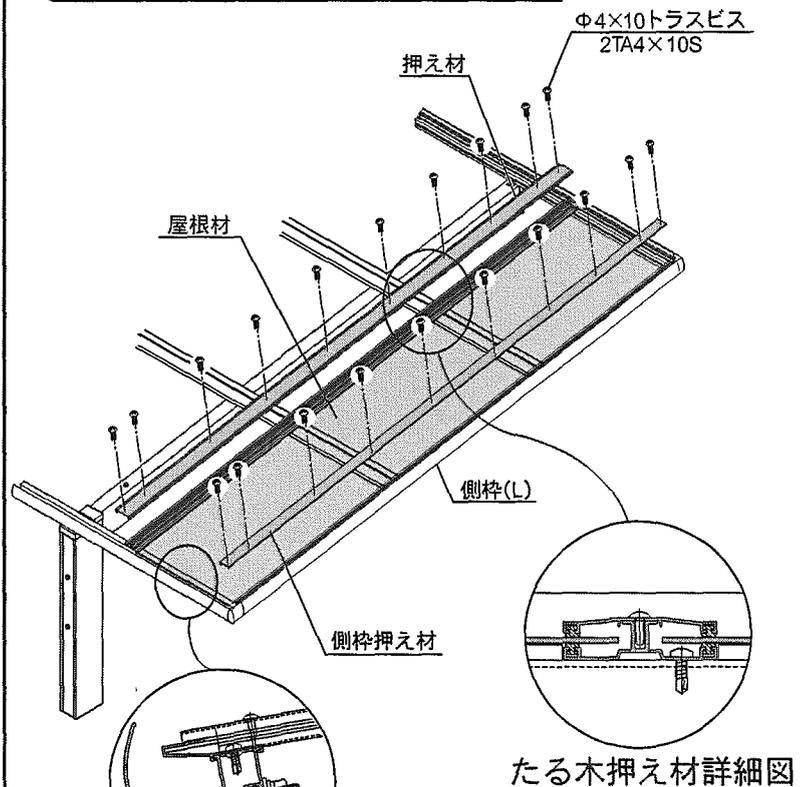
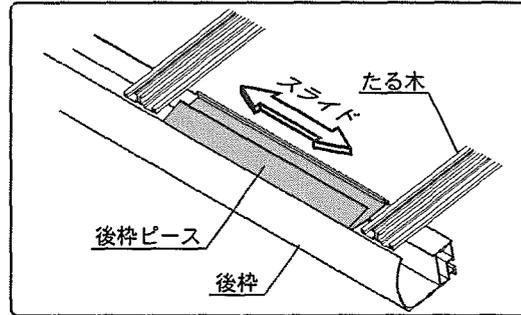
- ④ 押え材が前枠ビードに突き当たる部分と前枠とキャップの連結部にコーキングを施してください。

! ポイント

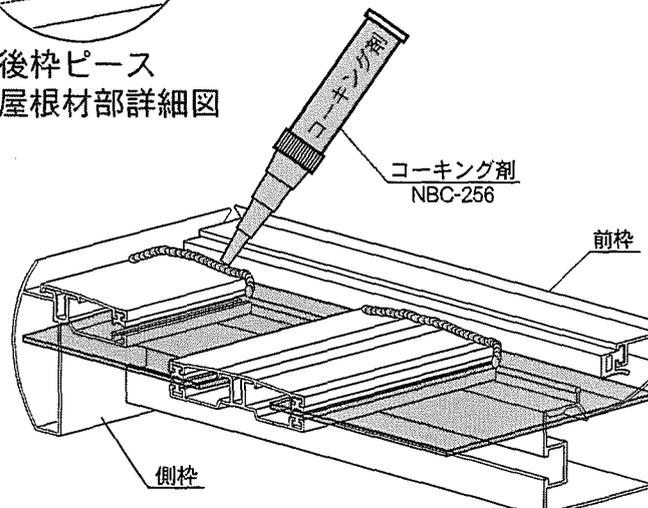


! お願い

- コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。



後枠ピース 屋根材部詳細図



7 雨樋の組立

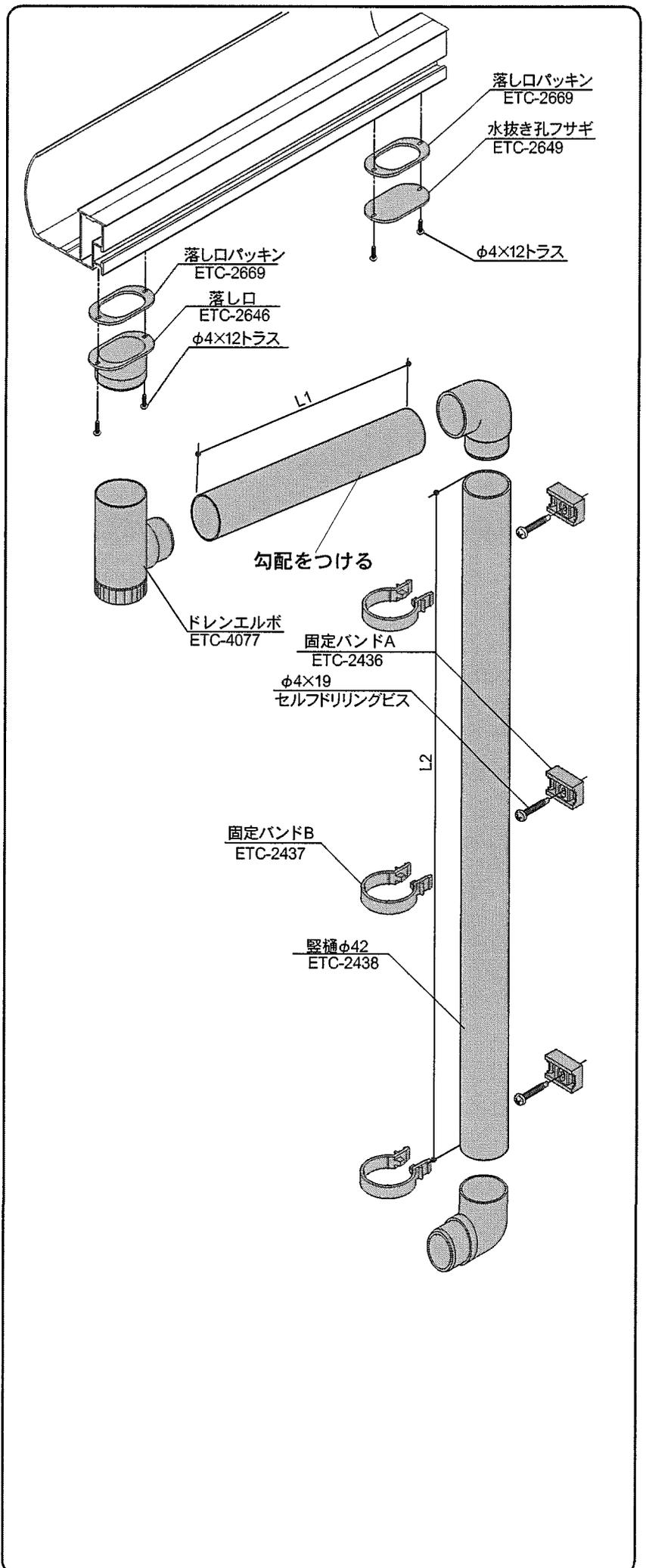
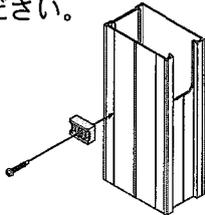
- ① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は、下表を参照ください)
- ② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
- ③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
- ④ 柱3ヶ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
- ⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

参考寸法

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
L:51	827	727~927
L:58	485	385~585

ポイント

- 横樋 (L1部分)は勾配をつけてください。
- 固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。



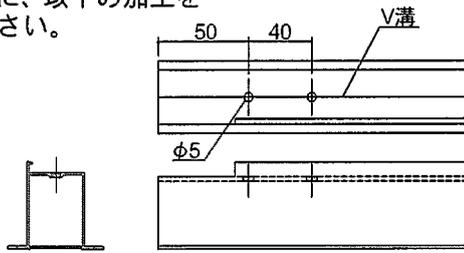
8 屋根補強材の取付け

屋根補強材に同梱されているME-1252を参照して、取付けを行ってください。

連結部の組立(前枠・後枠・母屋の連結)

- ① 連結部の組立て前に、以下の加工を部材に施してください。

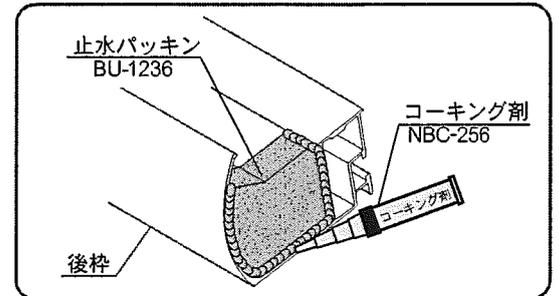
母屋



- ② 本取付説明書5ページの基礎の施工、はりの取付けを参照し施工してください。
- ③ 後枠に止水パッキンを取付けてください。連結部の後枠切口に止水パッキンを取付けてコーキングをしてください。
- ④ 本体側の後枠、前枠を柱、はりに仮止めし母屋をはりに止めてください。
- ⑤ 下図を参照して後枠、前枠、母屋を連結してください。
- ⑥ 各部のねじれがない様にご注意ください。
- ⑦ 本取付説明書7ページを参照して側枠、たる木の取付け、屋根材及び押え材の取付けを行ってください。

● 止水パッキンの取付け

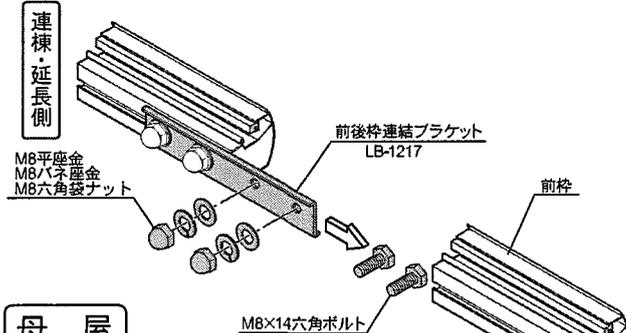
- 後枠に止水パッキンを取付け、十分にコーキング剤を塗布してください。



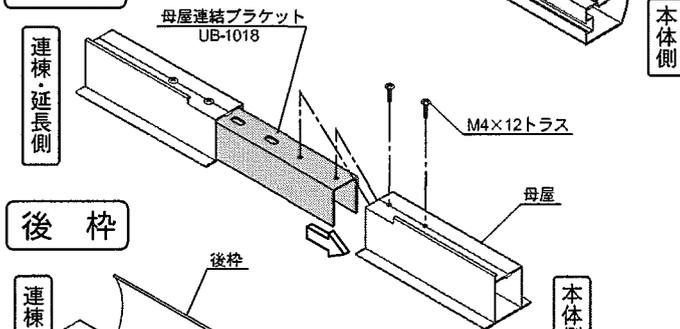
！ お願い

- コーキングは確実にこなしてください。コーキングが不十分ですと雨漏りの原因になります。

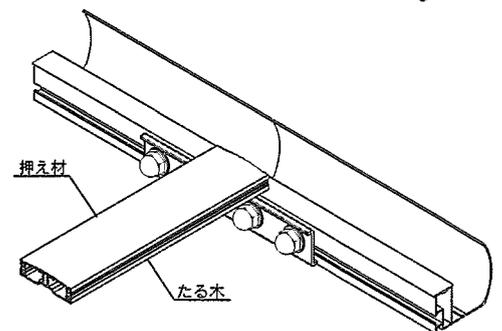
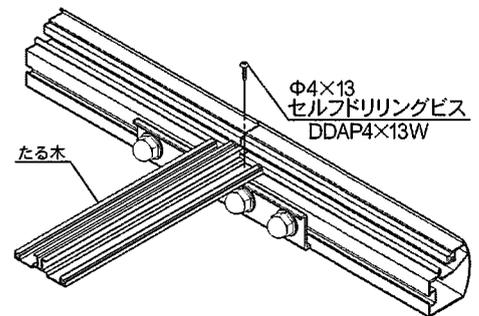
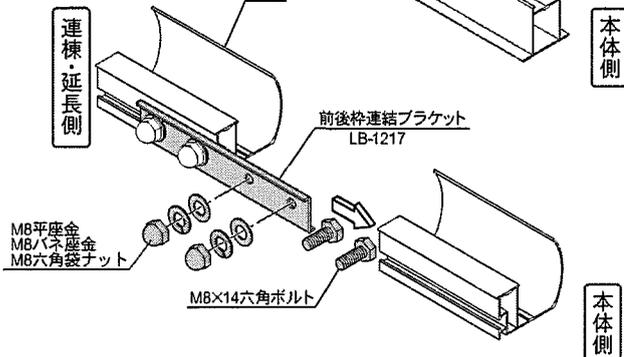
前 枠



母 屋



後 枠



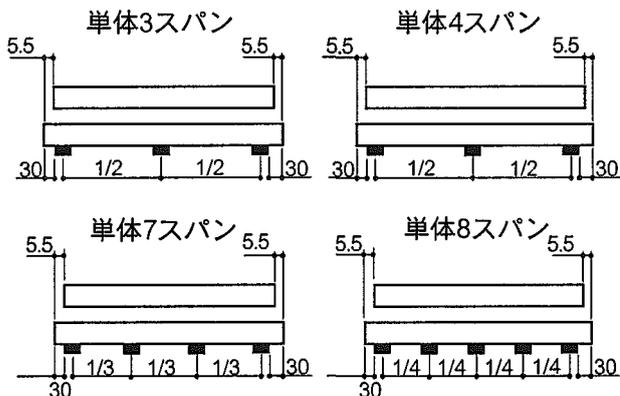
背面合掌納まりの場合

● 背面合掌カバー取付け

単体

- ① 背面合掌カバーにボルトを通し、平座金、バネ座金、袋ナットを取付けてください。(袋ナットは締め込まず、適度に止めてください。)
- ② 背面合掌キャップをトラスビスで2ヶ所止めてください。
- ③ 背面合掌カバーを後枠にのせ位置に合わせ、合掌ブラケットにて固定してください。

背面合掌ブラケット取付位置



連棟

- ① 背面合掌カバーにボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットを取付けてください。(袋ナットは締め込まず、適度に止めてください。)
- ② 単体側の固定した背面合掌カバーに連棟用背面合掌部材をつき当て固定してください。
- ③ 背面合掌連棟カバーを背面合掌連結部が真中に来るようにゴムワッシャー付きテクスビスで取付けてください。

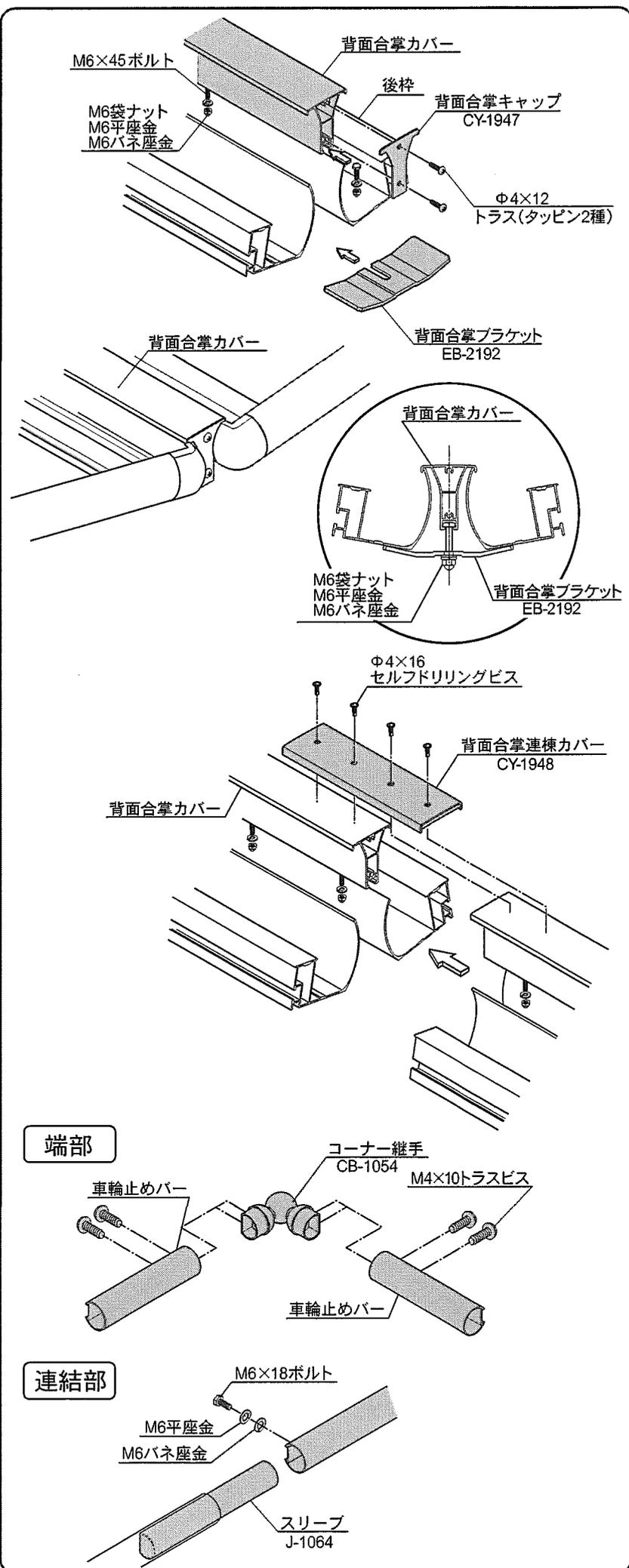
● 車輪止めバー組立

端部

- 車輪止めバーと端柱をコーナー継手(φ4×10トラスビス)にて取付けてください。

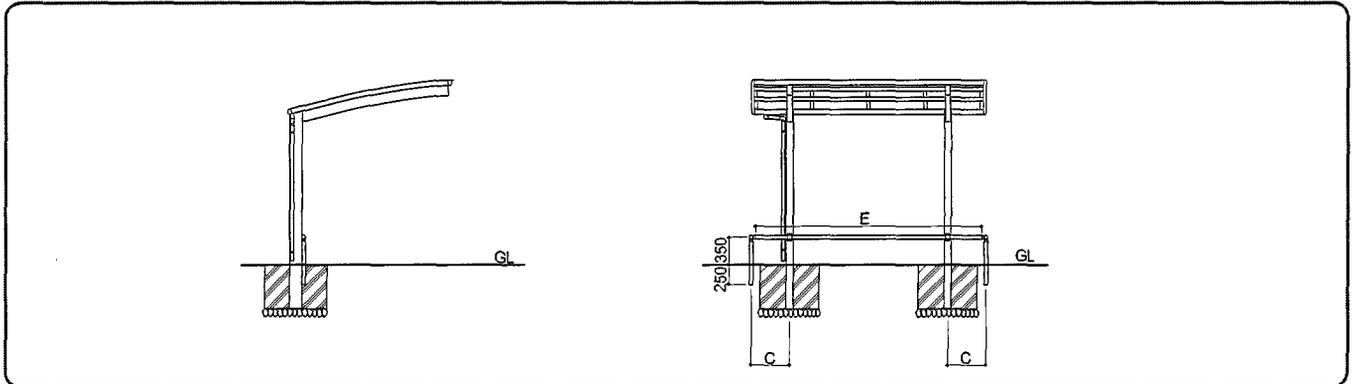
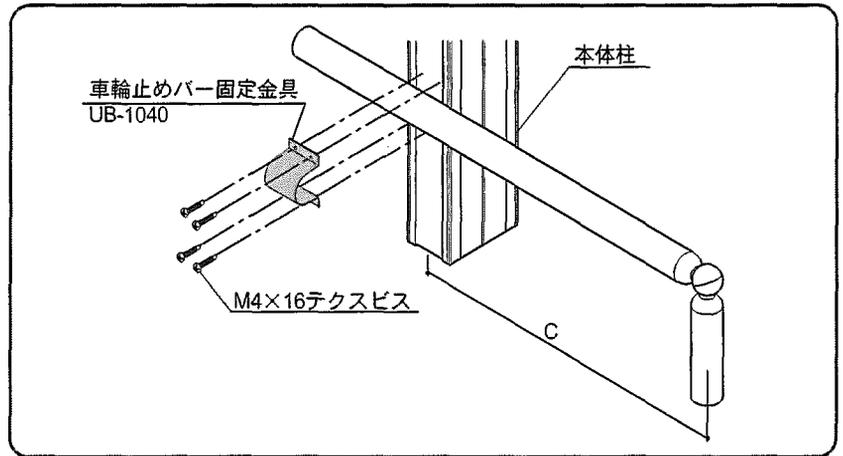
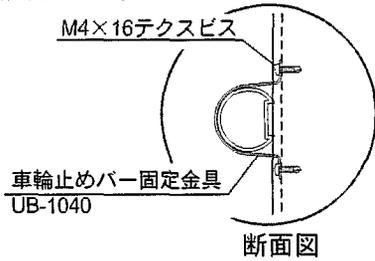
連結部

- 車輪止めバーをスリーブ(M6×18ボルト)にて連結してください。



● 車輪止めバー取付け

- 車輪止めバーを本体柱に車輪止め固定金具にて(M4×16テクスビス)固定してください。
- 取付け、埋込み寸法については納まり図、寸法表を参照ください。



□ 車輪止めバー寸法表

車輪止めバースパン	3	4	3+3	3+4	4+4	3+3+3	4+4+4	4+4+3+3	4+4+4+4	3+3+3+4+4+4	4+4+4+4+4+4
総スパン	3スパン	4スパン	6スパン	7スパン	8スパン	9スパン	12スパン	14スパン	16スパン	21スパン	24スパン
C	592.5	771.5	592.5	1161.5	819.5	592.5	771.5	1161.5	819.5	1161.5	819.5
E	2148	2864	4296	5012	5728	6444	8592	10024	11456	15036	17184

○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- このマニュアルは、施工終了後施主様にお渡ししてください。